

# がんの実態把握

## ■ 対がん戦略以前

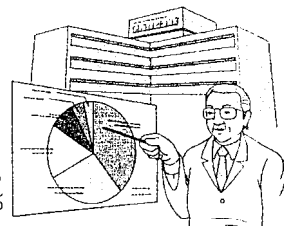
がんの症例の蓄積は、主として病院の診療科や大学医学部の教室単位で行われていた。



● 各大学、病院が様々な統計を独自で発表

○ ○大学××教室における  
精巣がん5年生存率は80%

○ ○病院××科における  
精巣がん5年生存率は40%



## ■ 第1・2次対がん戦略

登録精度が比較的良好な地域がん登録室が参加して、全国がん罹患データの推計を行った。

● 地域がん登録研究班共同調査(1999)  
参加登録室



## ■ 第3次対がん10か年総合戦略における方向

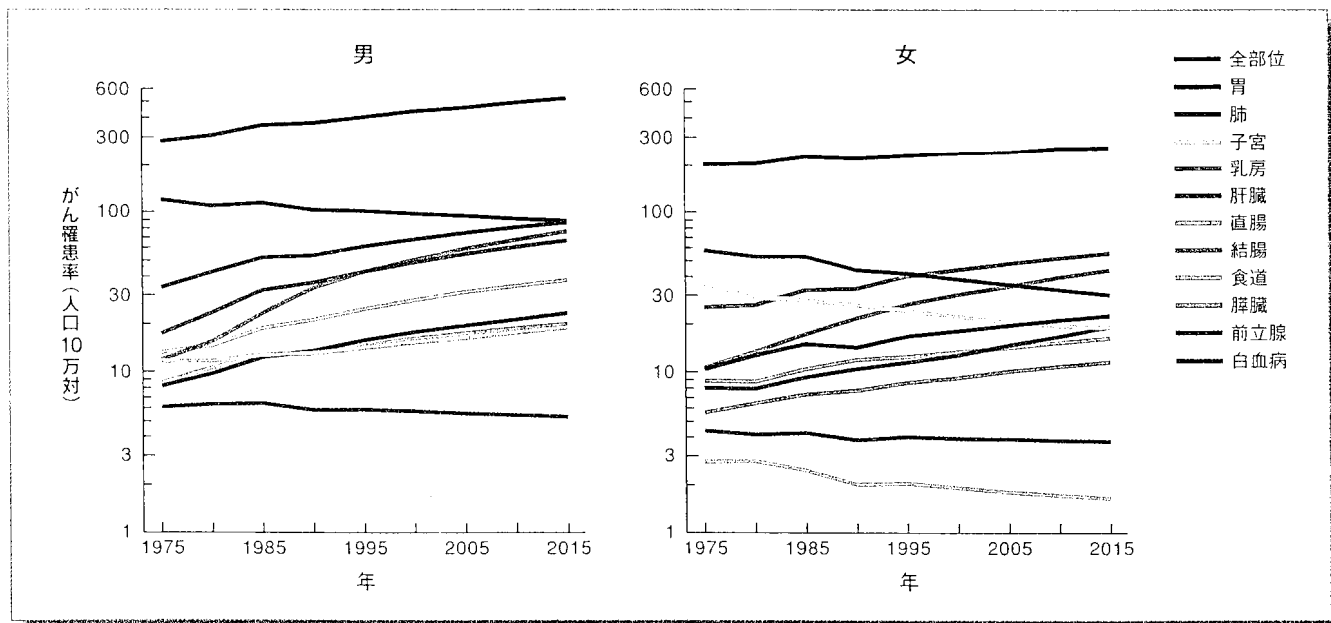
院内がん登録の標準化を進め、地域がん登録の精度を向上させることにより、がんの実態を正確・迅速かつ継続的に把握する。これにより、我が国のがん対策の正しい方向付けが可能となる。



習熟したがん登録士による  
院内がん登録の運営



地域がん登録・中央登録室での  
照合と集計作業



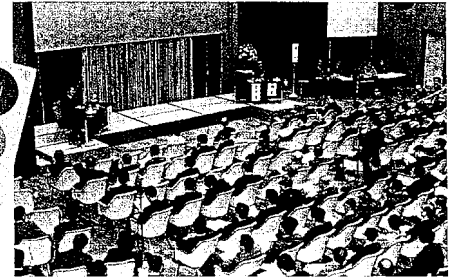
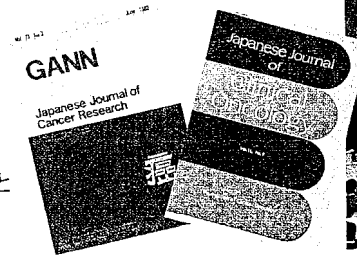
タイムリーで正確ながん罹患・死亡情報による動向の分析

# がんの情報発信

## ■ 対がん戦略以前

学術論文・学会発表などにより、主として専門家間でのがんに関する情報の交換・評価・蓄積が始まっていた。

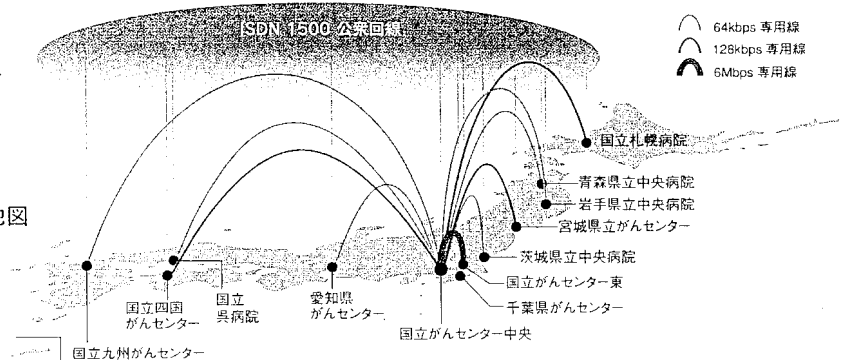
- 我が国のがん専門学術誌と学会風景



## ■ 第1・2次対がん戦略

医療従事者間の情報ネットワークが構築され、インターネットを用いた一般国民向けがん情報提供サービスが開始された。

- がん情報ネットワークの地図



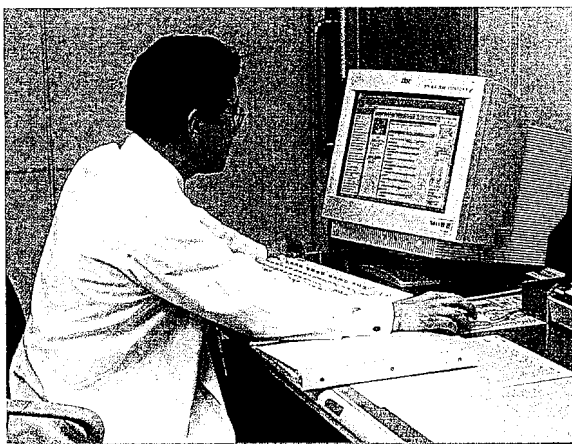
## ■ 第3次対がん10か年総合戦略における方向

医療従事者及び一般国民向けに、各人のニーズに対応するがん情報提供システムをさらに開発・充実させ、全国的に普及を図る。

- 国立がんセンターがん情報サービス



がんの正しい知識を  
わかりやすく解説した  
ホームページ  
<http://www.ncc.go.jp/>



医療関係者によるがん最新医療情報の検索



それぞれのニーズに応じた情報を手軽に家庭で入手

# 「第3次対がん10か年総合戦略」における今後

戦略目標：我が国の死亡原因の第一位である  
推進することにより、がんの罹患率

がん研究の  
推進

## がんの罹患率

がん予防の  
推進

1. がんの有効な予防法の確立
2. がん予防に関する知識の普及の促進
3. 感染症に起因するがん予防対策の充実
4. がんの早期発見・早期治療

がんについて、研究、予防及び医療を総合的に死亡率の激減を目指す。

1. 学横断的な発想と先端科学技術の導入に基づくがんの本態解明の飛躍的推進
2. 基礎研究の成果を積極的に予防・診断・治療等へ応用するトランスレーショナル・リサーチの推進
3. 革新的な予防法の開発
4. 革新的な診断・治療法の開発
5. がんの実態把握とがん情報・診療技術の発信・普及

## 死亡率の激減

がん医療の向上と  
それを支える  
社会環境の整備

1. がん研究・治療の中核的拠点機能の強化等
2. がん医療の「均てん化」
3. がん患者等の生活の質(QOL)の向上
4. 国際協力・国際交流の促進並びに産官学協力の推進